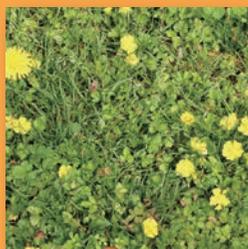
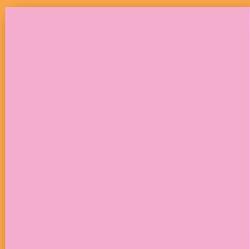
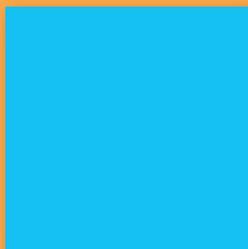


2022年は何周年？



生まれ変わる大学図書館

図書館長 鈴木亘

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！ コロナ禍の中、苦しい受験勉強を乗り越え、合格を勝ち取られたことに改めて敬意を表します。大学も、コロナ禍の中で苦しい時期が続いてきましたが、ようやく出口の兆しが見えてきたようです。新しくお迎えする皆さんとともに、大学もリポート（再起動）してゆきます。

皆さんに一つ大ニュースがあります。大学図書館が来年（23年4月）、新しく生まれ変わるのです。建築中の14階建ての大きな建物（新東1号館）に気づいた方もいるでしょう。この2階から11階までが、今までの大学図書館から大幅にバージョンアップされた新図書館になります。

新図書館は、まさに皆さんの大学生活の中心的施設になるでしょう。2階、3階は、広大な自習室やラウンジを備えるコミュニケーション・ゾーンです。皆さんが交流し、学び会える「居場所」になります。4階はラーニングコモンズやセミナールームとなっており、学生生活の様々な活動を支えます。もちろん、3階から11階は、膨大な蔵書を備える図書スペースで、好きなだけ専門書を読むことができます。今年いっぱい閉じる旧図書館、来年から始まる新図書館を大いに活用して、是非、楽しく実りある学生生活を送ってください。

新館に関する更なる情報は4面「新館ミニ情報」をご参照ください

2022年は何周年?

大学入学や引っ越しなど、生活に変化があってもなくても、春はさまざまな期待と不安でどこそわそわしてしまいますね。そんな時はゆったり気分を落ち着けて、タイムトラベラー気分て過去を振り返ってみるのはいかがでしょうか?今年はどうなるか、自分なりの未来年表を描けるかもしれません。

1822年
(200周年)



ルイ・パスツール生誕
グレゴール・ヨハン・メンデル生誕

『Medicine: 医学を変えた70の発見』

パスツールによる細菌の発見、メンデルによる遺伝に関する実験と推論は、医学の発展におけるターニングポイントです。それらがビジュアル的に見られるのが本書。現代医療では当たり前となった技術や最新医療まで網羅されており、医学史入門にうってつけです。

William & Helen Bynum [編]、
鈴木晃仁・鈴木実佳訳
(医学書院 2012)
490.2A/B98m 大学図・1F開架

日本の鉄道開業



『鉄道快適化物語: 苦痛から快樂へ』

小島英俊著 (創元社 2018) 686.21A/Ko39t 大学図・1F開架

絶景トロッコやおもてなしが楽しめる観光列車と聞くと、心が浮き立ちますね。今では夏の車内では必要不可欠な冷房の搭載をめぐる奮闘等、今日の快適な鉄道に至るまでの様々な試みが紹介されています。



1872年
(150周年)

1972年
(50周年)

1922年
(100周年)



水木しげる生誕

『水木しげる: 妖怪・戦争・そして、人間』

(河出書房新社 2016 KAWADE夢ムック) 726A/Mi95m 大学図・1F開架

『コミック 昭和史』(全8巻)

水木しげる著(講談社 1994 講談社文庫) Bunko/Mi95/1-8 大学図・1F開架

ゲゲゲの鬼太郎や妖怪図鑑で知られる水木しげる。対談や作家仲間のエッセイを通じて、人間・水木しげるの魅力に迫る1冊と、彼が生き抜いてきた昭和という時代を真正面から取り上げた作品を紹介します。

山田風太郎生誕

警視庁草紙(山田風太郎明治小説全集 1-2)

山田風太郎著 (筑摩書房 1997 ちくま文庫)
913.7/1179/1-2 大学図・書庫

「忍法帖」シリーズや『魔界転生』等、とにかく面白いエンターテインメント小説の怪作家。生誕100周年を記念してコミカライズも開始した本作は、幕末から明治初期の史実を丁寧に織り込みながらも奇想天外なストーリーで飽きさせません。山田風太郎世界にどっぷり浸ってみませんか。

チャールズ・シュルツ(スヌーピーの漫画『ピーナッツ』著者)生誕

『スヌーピーたちのいい人間関係学』

A.J.ツワルスキー著、チャールズ・M.シュルツコミック原作・装画、
笹野洋子訳 / (講談社 2000)
725.7/96 大学図・1F開架

人間(?) 同士の関係という観点から、漫画『ピーナッツ』を通して丹念に解説されています。スヌーピーを読むうちに、なぜかずっと笑ってしまったり、もやもやしたものがいつのまにかなくなっている理由がわかります。

2002年
(20周年)



ユーロ流通開始

『EU経済入門』

本田雅子、山本いづみ編著 (文真堂 2019) 332.3A/H84e 大学図・1F開架
イギリスのEU離脱(ブレグジット)は記憶に新しいニューストピックですが、ヨーロッパ経済は各国の背景や事情が異なり、入り組んでいます。本書は政策や制度等、様々な分野からEUを分析していてこれから国際経済を学ぶには最適の1冊。

今年はどうなる?

今年はどうなるかがニュースになるでしょうか。未来の予測なども参考にしながら、皆さん自身の未来もぜひ思い描いてみてください!

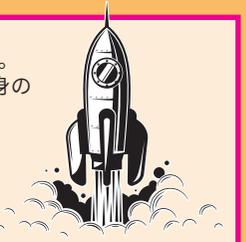
未来へのヒント:

①未来年表(博報堂生活総合研究所)

<https://seikatsusoken.jp/futuretimeline/>

②NRI未来年表 2022-2100(野村総合研究所)

<https://www.nri.com/jp/knowledge/publication/cc/nenpyo/lst/2022/2022/2022>



沖縄返還

『星条旗と日の丸の狭間で: 証言記録・沖縄返還と核密約』

具志堅勝也著 (芙蓉書房出版 2012) 319.1A/G96s 大学図・1F開架

日中国交正常化

『日中国交正常化の政治史』

井上正也著 (名古屋大学出版会 2010) 319.1A/I57n 大学図・1F開架

今から50年前は、沖縄返還、日中国交正常化など、戦後の昭和史の中で大きな出来事がたくさん起こりました。現在まで続いている問題も多いです。これを機に、戦後史を改めてじっくり学んでみては。

パンダ初来日

『パンダ通』

黒柳徹子、岩合光昭著 (朝日新聞社 2007 朝日新書)
081.2/72/73 大学図・1F開架

日中国交正常化と切り離せないできごとが、パンダ初来日。パンダ博士の黒柳徹子さんが綴るエッセイの中には当時の思い出も。写真もふんだんで、パンダ愛にあふれる1冊。現在もパンダフィーバーは続いていますね。



新館ミニ情報



現在建設中の新しい大学図書館は、現在の図書館サービスを更にアップデートするだけでなく、新しく導入される新サービスも。今回はその一部を一足先にご紹介します。この他にも、皆さんの学生生活をサポートする新図書館を目指して現在、準備を進めていますので楽しみに！

開館時間内であれば自由に書庫(7F一部~10F)を利用が可能に

グループ学習室には発表の練習等マルチに使える設備を設置

一人で学習に集中したい時に利用できる個人ブース(7F)や自習室(2F)がOPEN

新東1号館(図書館2F~11F)



施設部施設課 増田 雅博さん

「2022年本屋大賞はどの作品に!？」

活字を読むのはまあまあ好きで、学生時代はそれなりに小説も読んでいたような……。社会人年数が進むにつれ本屋に行っても小説エリアよりは週刊誌やスポーツ雑誌コーナーに立ち寄る時間が圧倒的に多くなっていて、そんな私が7、8年前『本屋大賞』受賞の文字に惹かれ手にしたのが『海賊とよばれた男』(百田尚樹著、講談社

大学図・書庫 Bunko/H99/1-2)でした。休日昼頃に上巻を買い、読みだしたら止まらなくなり、その日のうちに下巻も買い読破しました。これ以降の本屋大賞作品はすべて購読していますが、さすがにどれも素晴らしい作品ばかりです。ちなみに本屋大賞は過去一年間で「全国書店員が選んだいちばん!売りたい本」に与えられる賞で、書店員の投票だけで選ばれる賞です。今年1月に2022年の大賞ノミネート作品10作が選ばれ、4月6日に結果発表予定となっています。昨年大賞受賞(『52ヘルツのクジラたち』(中央公論新社



大学図・1F開架 Best/2021)した町田そのこ氏が今回もノミネートされており、過去誰も成し得ていない2年連続受賞なるか?興味がそそられます。私がこの原稿を書いているのは2月中旬、私の予想は『赤と青とエスキース』青山美智子(著)ですが、さて、結果や如何に?

※編集より: 話題作や読みやすい小説などは、大学図書館のベストセラーコーナーや文庫を探してみてください。女子大学図書館からの取り寄せもできますよ。



511
来ぶらり No.116 2022年 4月1日

学習院大学図書館 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

発行責任者: 鈴木亘教授 編集委員: 藤本智美・遠山有紀

1階貸出・返却カウンター (内線 2397): ☎ 03-5992-1009(直通) 2階レファレンスカウンター (内線2395・2396): ☎ 03-5992-9249(直通)

「来ぶらり」のバックナンバーは (<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/about/publication.html>) で公開しています。

ISSN 2186-6724